

World Future Energy Summit 2014 (アブダビ)展示会に出展

平成 26 年 1 月 20 日～ 22 日の 3 日間アブダビ国際展示場において第 4 回 World Future Energy Summit 2014 (WFES) が開催されました。JCCP は出展形式でこれに参加しました。

WFES は再生可能エネルギーの活用による持続可能社会構築を目指すことをテーマに、アブダビの再生可能エネルギー開発会社であるマスダールが主催している国際展示会で、2011 年から開催されています。

再生可能エネルギーや環境技術に関する世界最大級の見本市であり、展示会のほかアブダビをはじめ各国の首脳・エネルギー関係者が集まり、パネルディスカッションやセミナーも合わせて行われています。今回の展示会規模は出展が 650 社、参加者約 30,000 人でした。

日本企業は経済産業省が中心になり、Japan パビリオンを編成し、多くの団体企業が参加しています。JCCP の活動を広く中東諸国に広報していくための有効な手段として、今回初めてブースを出展することにしました。

1. WFES 開催内容

1 月 20 日の開会式では、UAE モハムド皇太子 (His Highness General Sheikh Mohammed bin Zayed Al Nahyan) 出席のもと、マスダールの CEO による開会の挨拶があり、その後、中東周辺国のエネルギー関連首脳によるパネル討論会がありました。

全体の展示内容は太陽光発電・風力発電・省エネルギー・燃料電池車、太陽パネル車など大小合わせた各国の展示があり、その中でも、主催のマスダール (Masdar)、地元アブダビ国営石油会社 (ADNOC) グループ、大手石油会社が大きな展示スペースを有していました。

2. JCCP ブースの来訪者

初日の来訪者は企業関係者などエネルギー関係者が主でした。茂木経済産業大臣も Japan パビリオンを訪問されました。JCCP ブースには UAE やその他中東諸国研修卒業生や技術協力関係者が訪問されました。

また、一般の方々では環境、IT、メディア関係の方も多数見え、JCCP 活動についての研修で特に環境関係の質問が多くありました。JCCP パナーのキャッチコピーである「技術でつなぐ、人と人—Connected by Technology, Person -to-Person」を見てこれは何かとたずねる人が数名いて、JCCP の事業を説明する良い切っ掛けになりました。

展示会 2、3 日目は UAE の小学生、中学生、高専、大学の学生が多数見え、課外活動の一環のようでした。Japan パビリオンのセミナーコーナーでは日本でもおなじみの出張理科実験教室を実施し、好評の様子でした。

JCCP ブースにも多くの来場者があり、JCCP の活動をわかりやすく説明をしました。JCCP ブースの訪問者は UAE 以外で、サウジアラビア・バーレーン・カタール・オマーンなど中東諸国他、ドイツ・中国・カナダ・トルコ・マレーシアなどで、全体訪問者推定：約 250 名の方が見えました。

3. 所感

今回初めての参加でしたが、JCCP の活動を石油関係者以外の業種や学生層にも幅広く周知するには絶好の場面であり、訪問者数、資料配布数、JCCP 説明の反応から、十分な成果を得られたと思われまます。

(中東事務所 西村 淳)



アブダビガス会社 GASCO アル・カマリ氏



女子学生に説明